

2025年3月

個人投資家のみなさまへ ユアテック会社説明会



確かな**技術力**で新たな時代への**挑戦**

東証プライム市場
銘柄コード：1934

目次

01 ユアテックについて

02 ユアテックの強み

03 業績、株主還元、
2030ビジョン・中期経営計画（2024－2028）

04 サステナビリティへの取り組み

05 ご参考

目次

01 ユアテックについて

02 ユアテックの強み

03 業績、株主還元、
2030ビジョン・中期経営計画（2024－2028）

04 サステナビリティへの取り組み

05 ご参考

会社概要

社 名

株式会社ユアテック

本社所在地

宮城県仙台市

大株主

東北電力株式会社

業 種

建設業（設備工事業）

上場市場

東京証券取引所

プライム市場

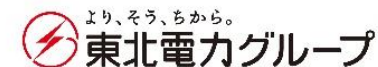
（銘柄コード：1934）



決算期

3月31日

数字で見るユアテック



設立年



1944年

従業員数



（連結）5,809名
（個別）3,796名
2024年3月31日現在

国内事業所数



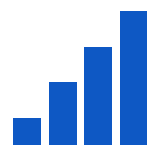
77事業所
2024年3月31日現在

連結子会社数



16社
うち海外 2 社
2024年3月31日現在

連結売上高



2,431億円
2023年度

資本金



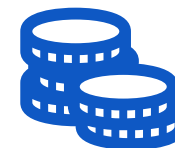
78億390万円
2024年3月31日現在

時価総額



約1,208億円
2025年1月31日現在

配当利回り



3.6%
2025年1月31日現在

(2024年10月 創立**80**周年)

1944年10月

東北電気工事株式会社
(Tohoku Electrical Construction)



設立時の本社社屋
(2階)

1991年 4 月

社名変更
株式会社ユアテック



ユア(YUR)

= 「みなさんの・お客さまの・社会の」を表します。
語感から「融和」を表します。

テック(TEC)

= 「テクノロジー・技術」を表します。
前社名の英訳名の頭文字を表します。

2025年



本社ビル
(仙台駅東口)

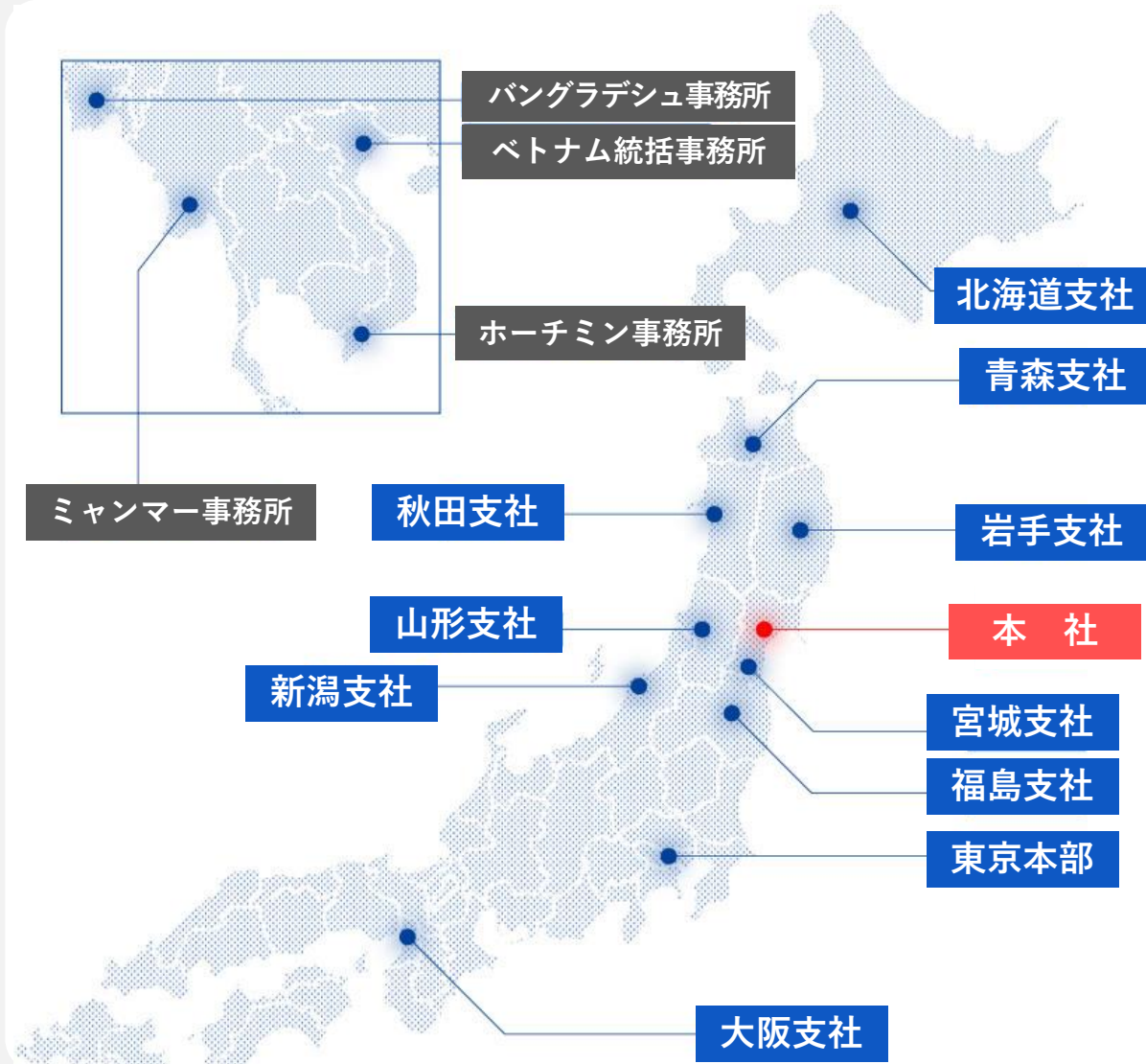


取締役社長
社長執行役員
太田 良治

ユアテックは
お客さまの心ゆたかな価値の創造に協力し、
社会の発展に貢献します。



◆ 広大で多彩なフィールドがユアテックのステージ



国内

東北 6 県と新潟県を中心に
77 事業所

海外

3 か国に事業所を展開

(ベトナム、ミャンマー、 Bangladesh)

アフリカ
東南アジアなど

⇒ **32** か国での施
工実績
(ODA含む)

◆ 総合設備エンジニアリング企業として、多岐にわたる工事を施工

主に一般得意先工事

屋内配線



空調管



情報通信



再生可能エネルギー



主に東北電力グループ工事

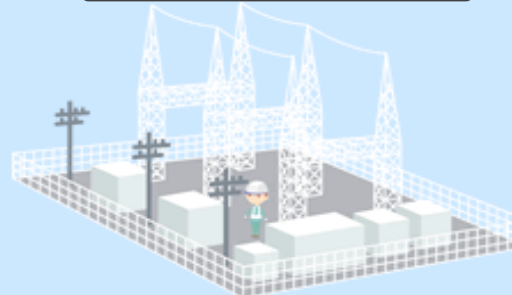
配電線



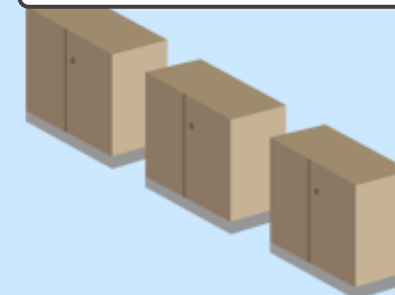
送電



発電電



土木建築



一般得意先工事（ゼネコン、官公庁、一般企業 等）

屋内配線工事

日常生活の場を快適に、
便利に、そして安全に
使用できる電気設備を
施工



空調管工事

空気環境を良好に維持
する空気調和設備、ト
イレや給水をはじめと
する給排水衛生設備等
を施工



情報通信工事

インターネットや携帯
電話等の生活に欠かせ
ない情報通信インフラ
設備を施工



再生可能 エネルギー工事

風力や太陽光などの再
生可能エネルギー発電
設備を施工



配電線工事

発電した電気を建物までお届けするための配電設備を施工



送電工事

発電所でつくられた電気を変電所まで運ぶ送電線路を施工



発電変電工事

電気を生み出す発電所、電力流通の拠点となる大型変電所に関する工事を施工



土木建築工事

無電柱化工事など各種電力設備の土木建築に係る工事を施工



◆ ライフラインを守る使命を担う

東北電力グループの一員として、
1日も早いライフラインの回復に向け、復旧作業を行う



2011年3月 東日本大震災
(宮城県)



2019年9月 令和元年台風15号
(千葉県)



2024年1月 能登半島地震
(石川県)

新テレビCMを制作

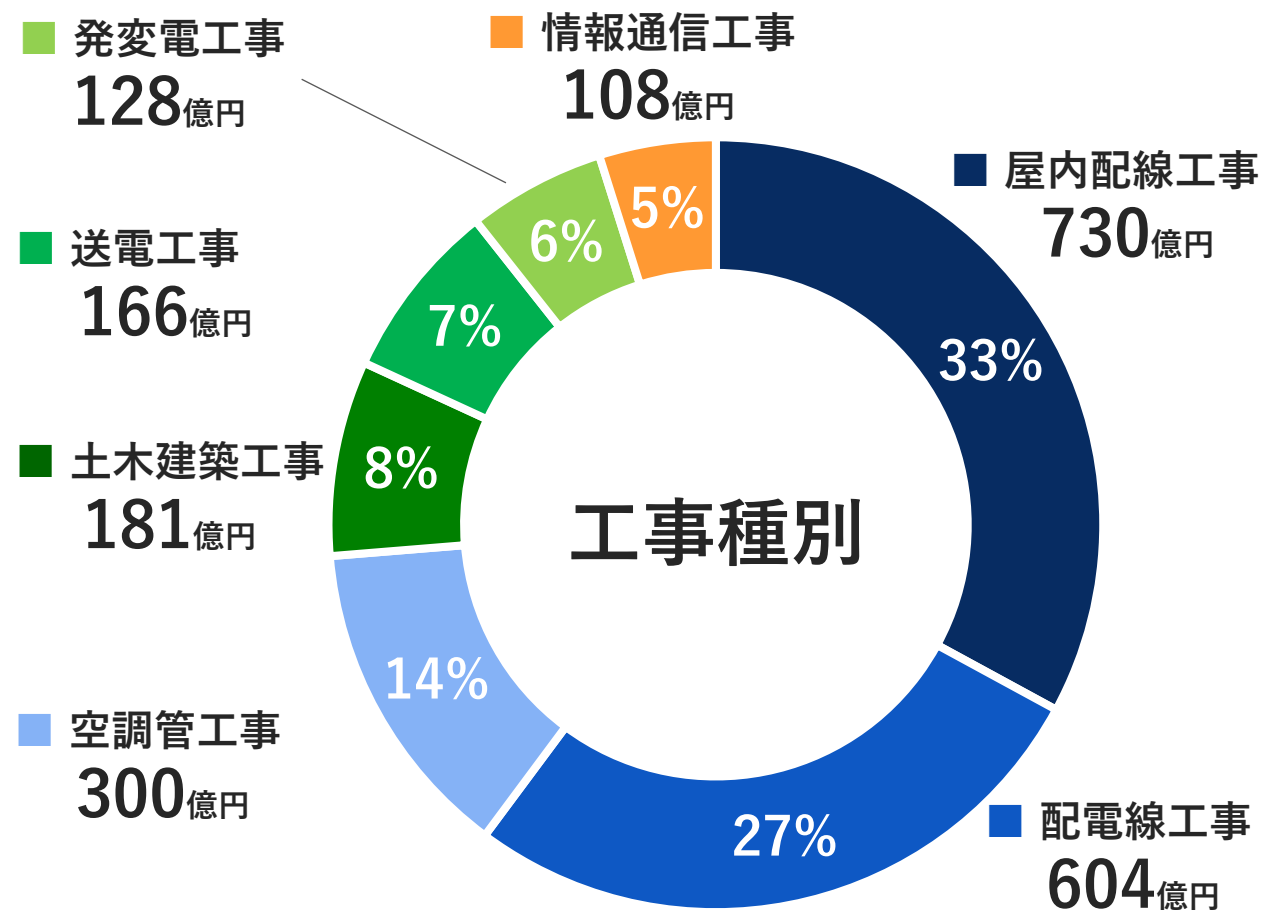
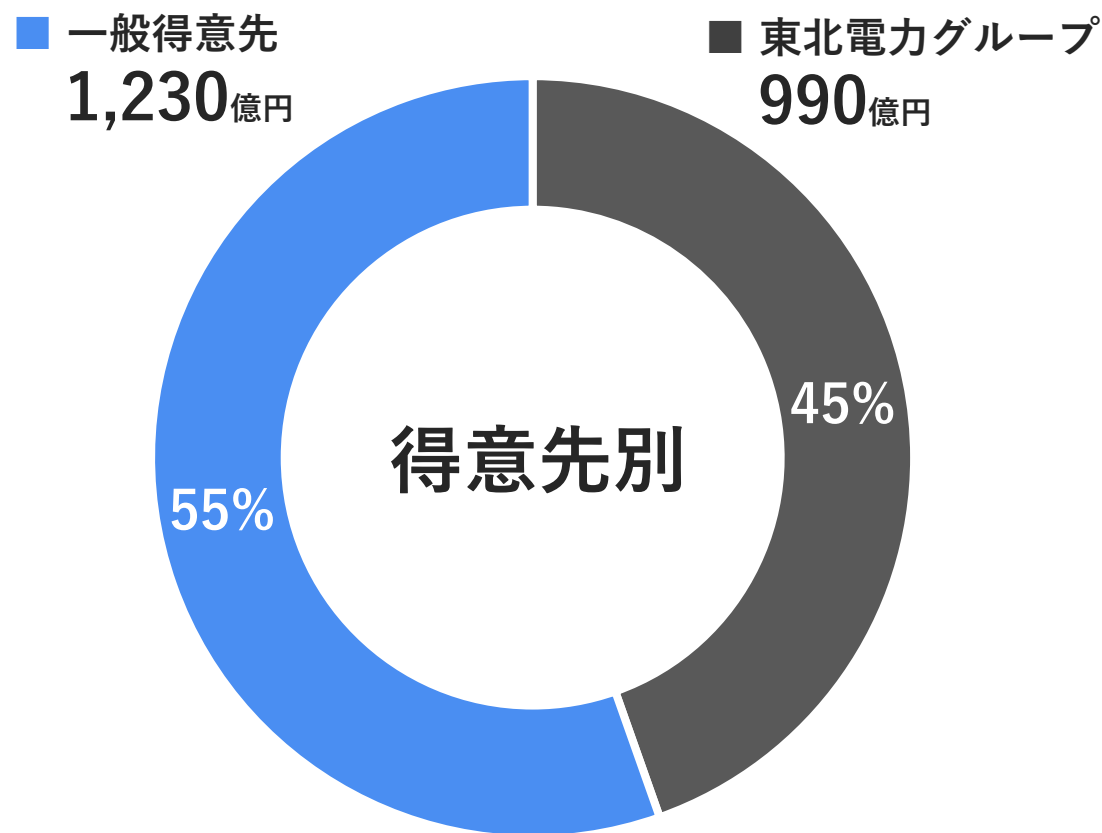
◆創立80周年の節目にあわせ、新テレビCMを制作

Tec to the Future 未来を支えに行こう。 | ユアテック 東北電力グループ (yurtec.co.jp)



◆ 屋内配線、配電線、空調管工事が約 7 割を占める主力事業

2023年度 個別売上高 **2,220** 億円の内訳



目次

01 ユアテックについて

02 ユアテックの強み

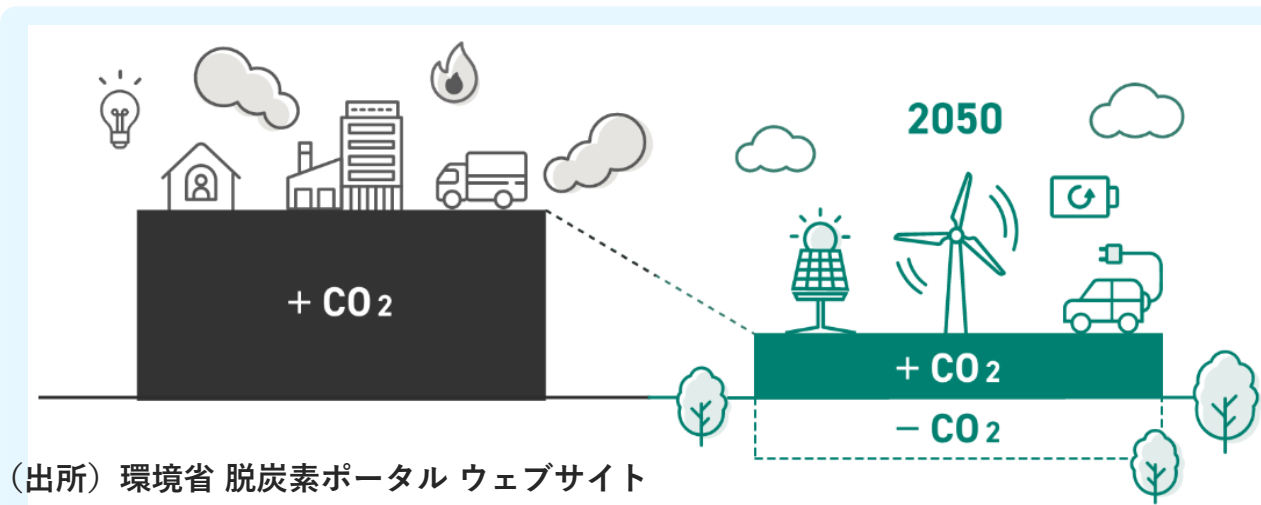
03 業績、株主還元、
2030ビジョン・中期経営計画（2024－2028）

04 サステナビリティへの取り組み

05 ご参考

「2050年カーボンニュートラル宣言」

2020年10月、国は2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする
カーボンニュートラルを目指すことを宣言

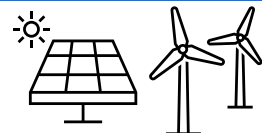


- カーボンニュートラル社会実現への取り組み加速
- サステナビリティへの関心の高まりを受けたESG経営推進

- 再生可能エネルギーの電源比率上昇
- 全国大での広域連携システムの整備

国が推進するカーボンニュートラルに向けた取り組みと当社事業の親和性の高さが強み

強み（1）



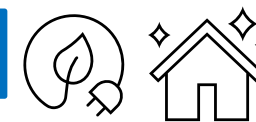
✓ 再生可能エネルギーの導入

強み（2）



✓ 基幹送電網の増強

強み（3）



✓ 省エネルギーの推進



1 再生可能エネルギーの導入

- ・ 東北各地で再エネ設備建設の計画
- ・ 地元企業としての「地の利」



2 基幹送電網の増強

- ・ 大規模な設備投資計画
- ・ 東北に確固たる事業基盤



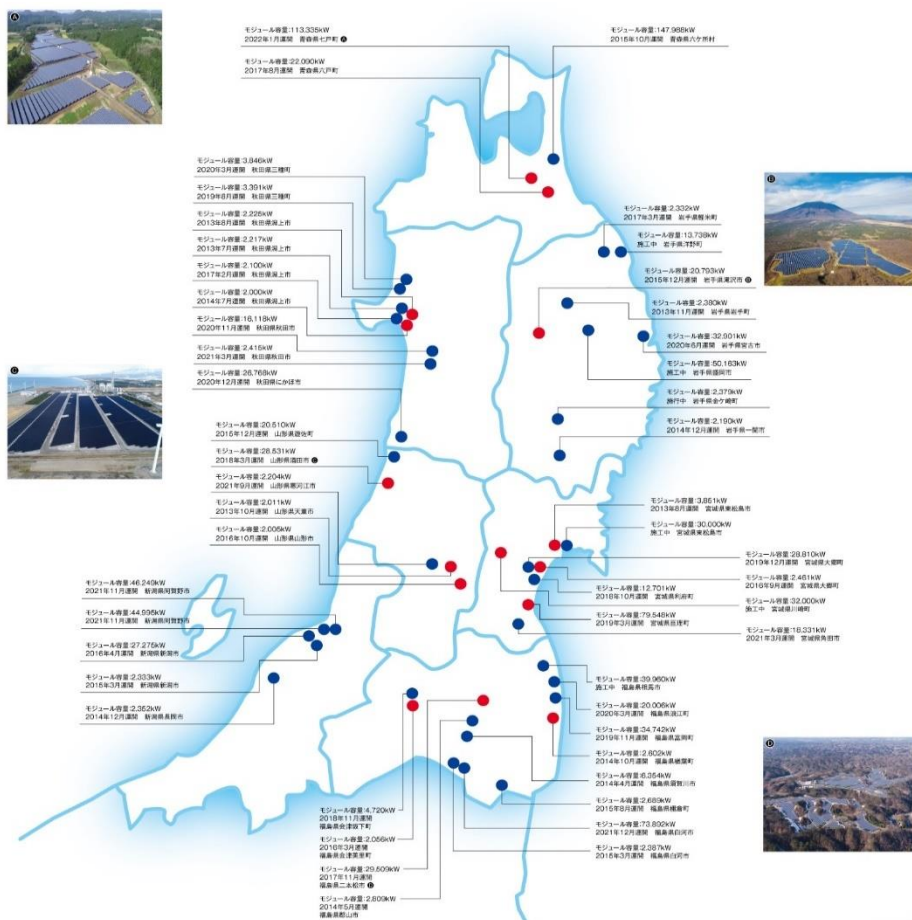
3 省エネルギーの推進

- ・ 市場拡大への期待
- ・ ZEBに関する専門的知見

◆ 太陽光：311件、モジュール容量 約134万kWの施工実績

(2012年度以降の施工実績合計 (2025年1月末時点))

主な施工実績



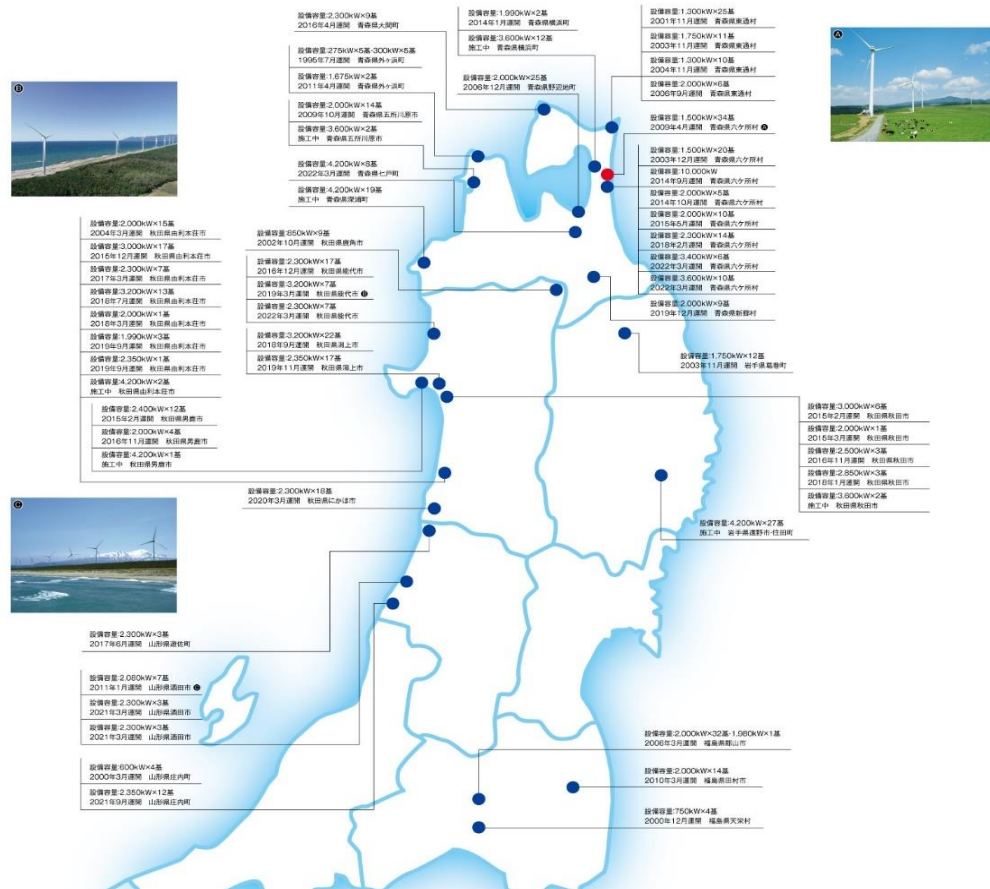
亘理太陽光発電所（宮城県）



◆ 風 力：53件、設備容量 約98万kWの施工実績

(2012年度以降の施工実績合計 (2025年1月末時点))

主な施工実績



ユース東由利原ウインドファーム（秋田県）



(1) 再生可能エネルギーの導入

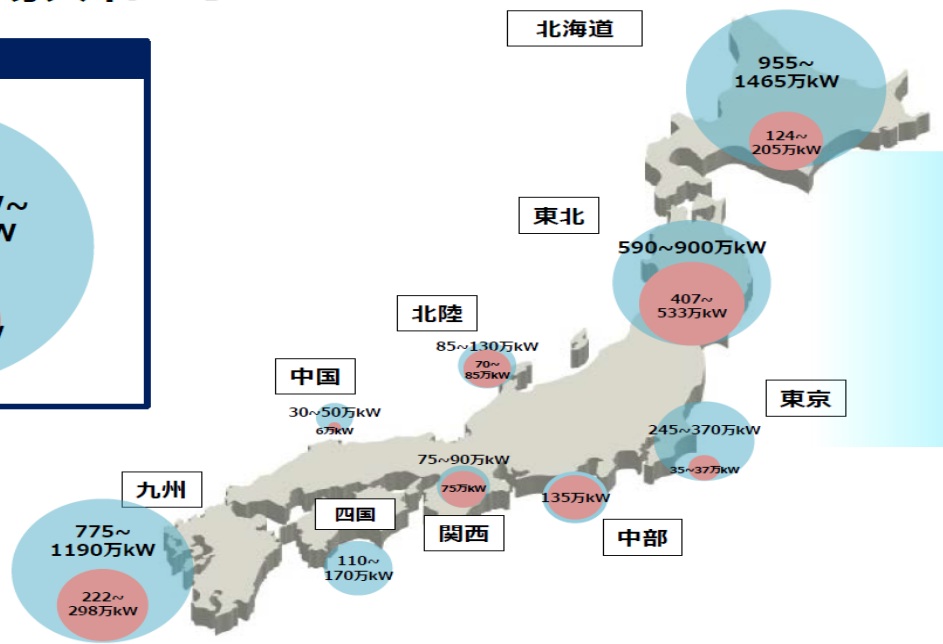
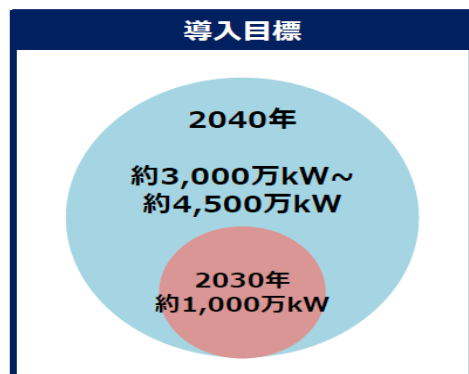
- ◆ 東北各地で洋上風力を中心に大型風力発電設備の建設が計画
- ◆ 地元企業としての「地の利」を活かした優位性

事業基盤である東北が適地であると示されており、高い導入目標値

(東北：2040年までに**590～900万kW**) が掲げられている

■ 国が示す洋上風力発電導入目標

【参考】エリア別の導入イメージ



受注拡大
を目指す

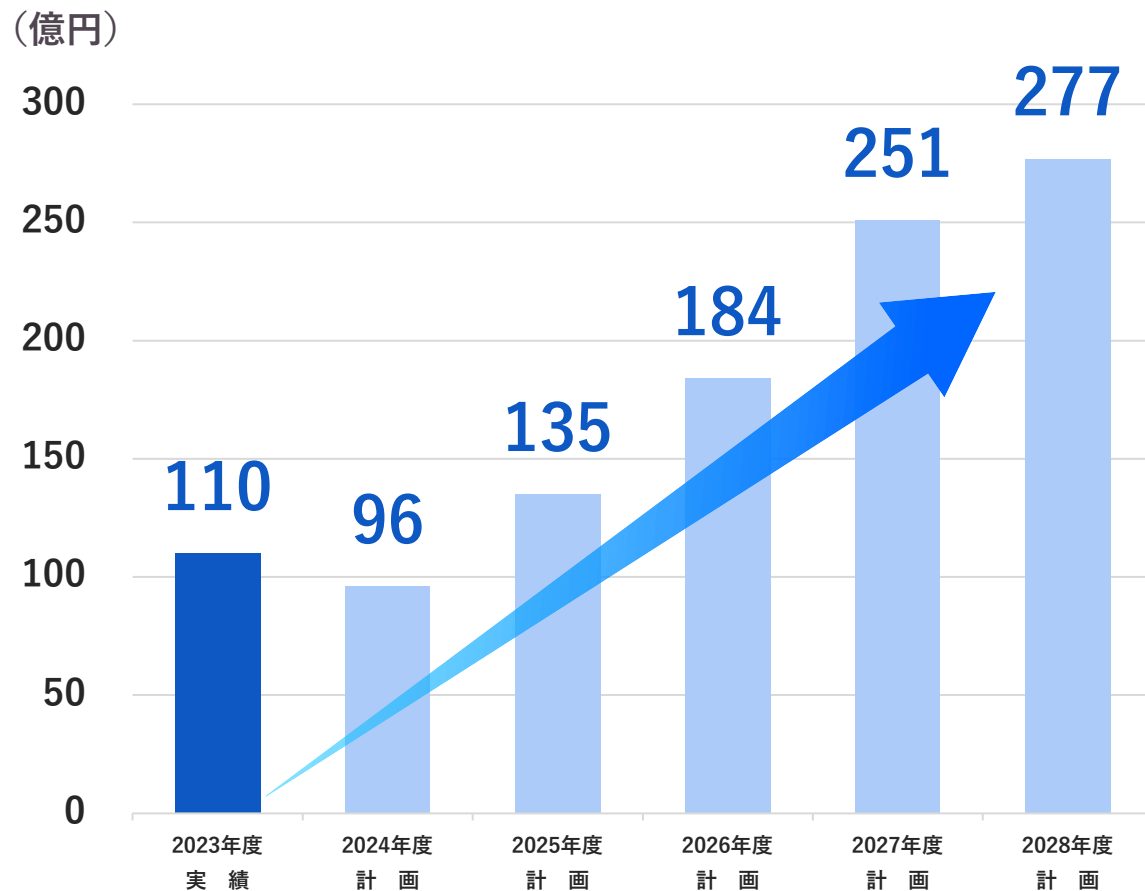
再エネ工事
20年以上の実績

(1) 再生可能エネルギーの導入

◆ 再生可能エネルギー工事の受注拡大を目指す

再エネ工事の個別売上計画

(主な工事：屋内配線・送電・発電機・土木建築)



20年以上の豊富な実績

風 力： 地元企業として
「地の利」を生かした受注獲得

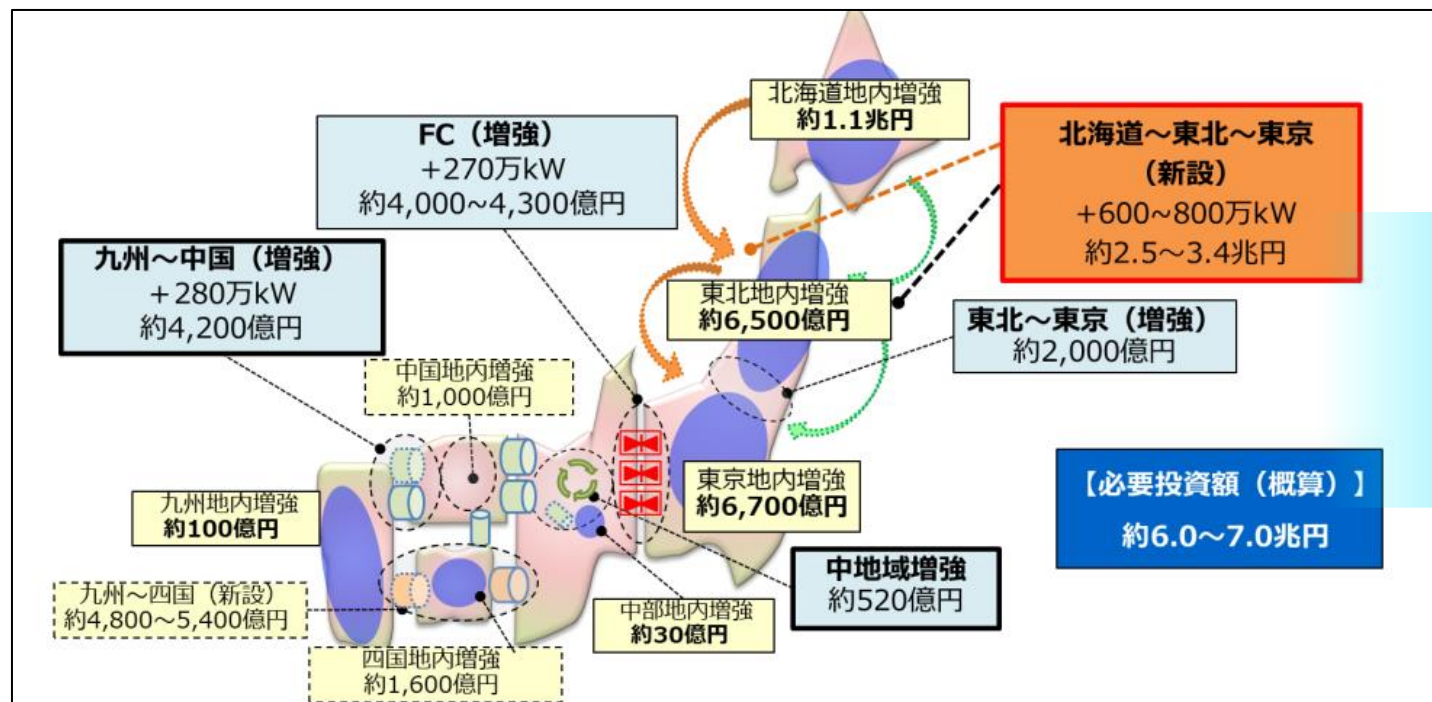
太陽光： 自家消費型
太陽光発電設備の受注確保

(2) 基幹送電網の増強

- ◆ カーボンニュートラルを見据えた大規模な設備投資計画
- ◆ 東北での確固たる事業基盤

送電網の増強に、東北地内では約**6,500億円**、
東北～東京間では約**2,000億円**の投資を試算

■ 国が策定している送電網増強案



継続的な
受注機会

東北に確固たる
事業基盤

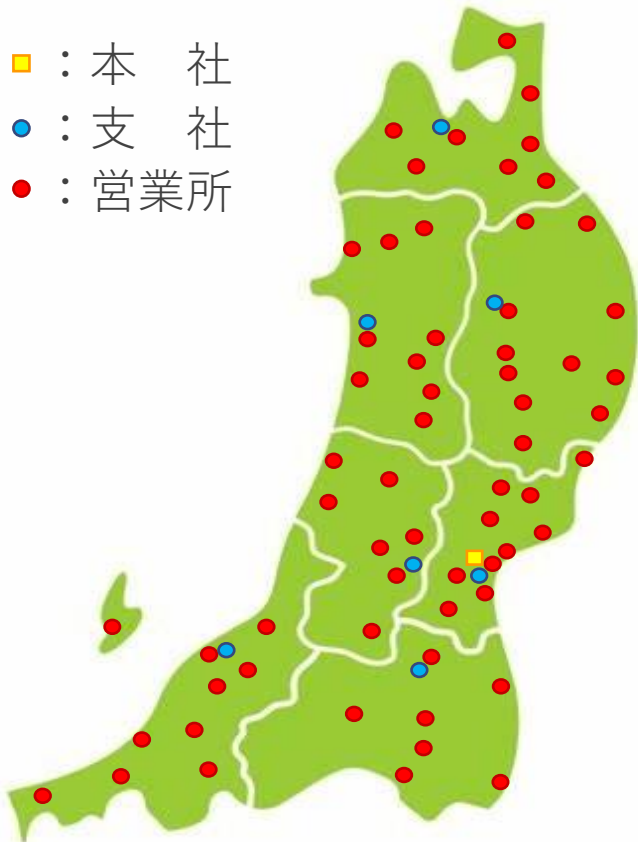
(2) 基幹送電網の増強

◆ 東北と新潟全域の事業所ネットワークと信頼の実績

東北と新潟の事業拠点

約**70**か所

- : 本 社
- : 支 社
- : 営業所



グループ会社 **16**社※

協力会社 約**450**社※

取引企業 約**82,000**社

東北エリア
総合設備工事会社
工事有資格者数
No.1

東北エリア
総合設備工事会社
売 上
No.1

※東北・新潟エリアに拠点を置くグループ会社・協力会社数

(3) 省エネルギーの推進

◆ 国の施策により、ZEBを含む省エネ市場の拡大が予想されている

■ 国が策定している地域脱炭素ロードマップの重点対策

地域脱炭素ロードマップの重点対策(赤字がZEB関連対策)

- 1 屋根置きなど自家消費型の太陽光発電
- 2 地域共生・地域裨益型再エネの立地
- 3 公共施設など業務ビル等における徹底した省エネと再エネ電気調達と更新や改修時のZEB化誘導
- 4 住宅・建築物の省エネ性能等の向上
- 5 ゼロカーボン・ドライブ（再エネ電気×EV/PHEV/FCV）
- 6 資源循環の高度化を通じた循環経済への移行
- 7 コンパクト・プラス・ネットワーク等による脱炭素型まちづくり
- 8 食料・農林水産業の生産力向上と持続性の両立

出所) 内閣官房「地域脱炭素ロードマップ」(2021年6月)より作成

国は
「地域脱炭素ロードマップ」
を策定

ロードマップの重点対策として
省エネ市場の
拡大が予想

(出所) 環境省 ZEB PORTAL ホームページ「<https://www.env.go.jp/earth/zeb/detail/02.html>」(参照: 2025年2月13日)

(3) 省エネルギーの推進

◆ 自社事業所へのZEB導入で得た知見をもとにお客さまへの提案

ZEBとは、ネット・ゼロ・エネルギー・ビルの略称

快適な室内環境を実現しながら、建物で消費する年間の一次エネルギーの収支をゼロにすることを目指した建物



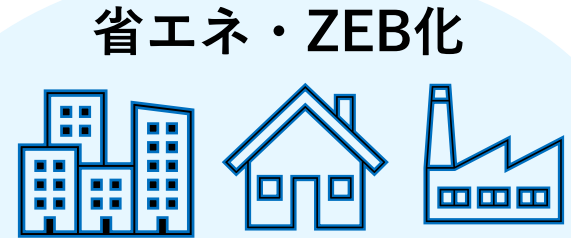
当社大船渡営業所 外観
「ZEB Ready」を取得



寒冷地仕様高効率
ビル用マルチエアコン



高効率高天井LED器具



省エネ・ZEB化



- ・CO2削減
- ・エネルギーコスト削減
- ・将来的な改修コスト削減

2022年
「ZEBプランナー・リー
ディングオーナー」に登録

2023年 5 月
自社事業所への導入

お客さまへの
省エネ・ZEB化提案

(3) 省エネルギーの推進

◆ 事業を通してカーボンニュートラルの実現に貢献

お客さまニーズを満たしていくとともに

人と地球に優しい**低炭素社会の実現に貢献**

省エネ性の高いシステムを複数導入（新築工事）

秋田県民生協会 セントラルキッチン（秋田県）



天井換気システム（写真上部）
を備えた調理室



高効率ヒートポンプ式外調機

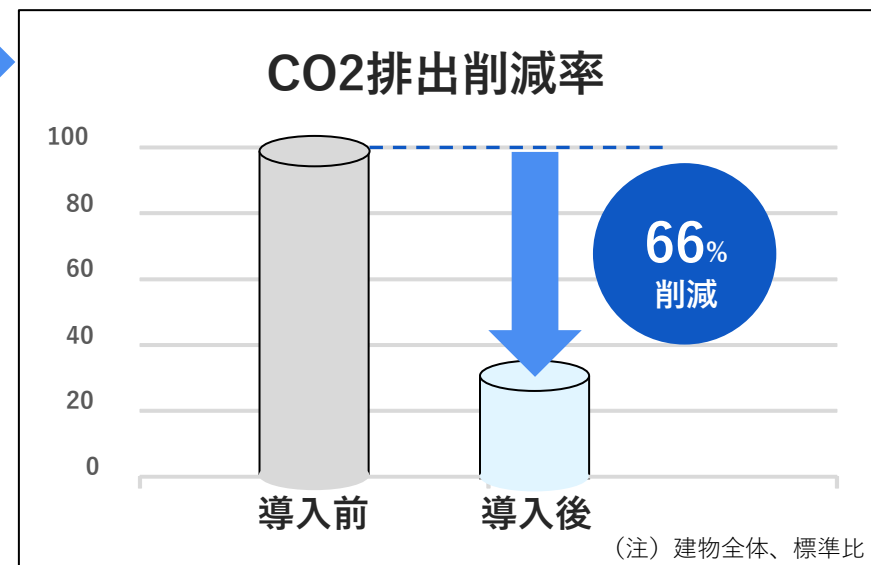


ZEB Ready※
導入効果により



省エネルギー量 **4,998GJ/年**

CO2排出削減率 **66%**



※ZEBを見据えた先進建築物として、
外皮の高断熱化および高効率な省エネルギー設備を備えた建築物

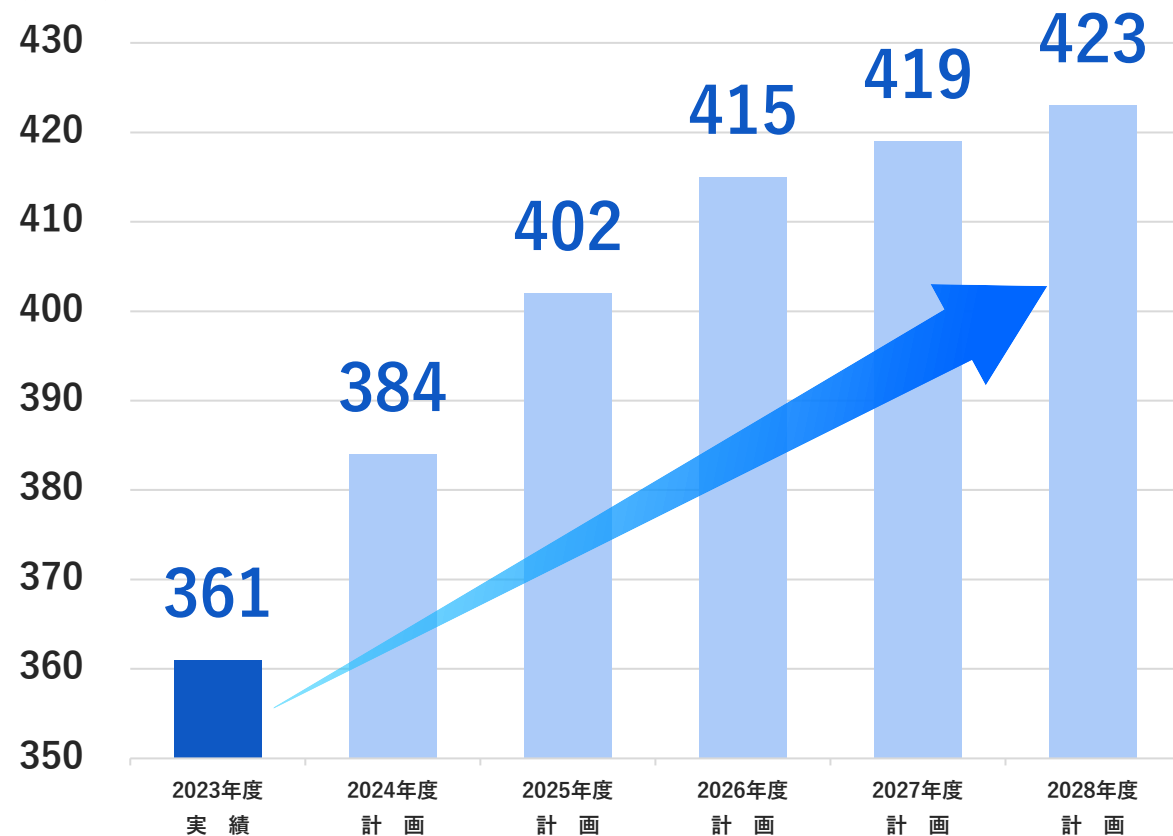
(3) 省エネルギーの推進

◆ 省エネ・ZEB等を含むリニューアル営業の強化

リニューアル工事の個別売上計画

(主な工事：屋内配線・空調管)

(億円)



「建物データベース」

を活用したリニューアル提案

ZEB プランナー

として、地元でのシェア確保、拡大



強固な **収益基盤** を構築

目次

01 ユアテックについて

02 ユアテックの強み

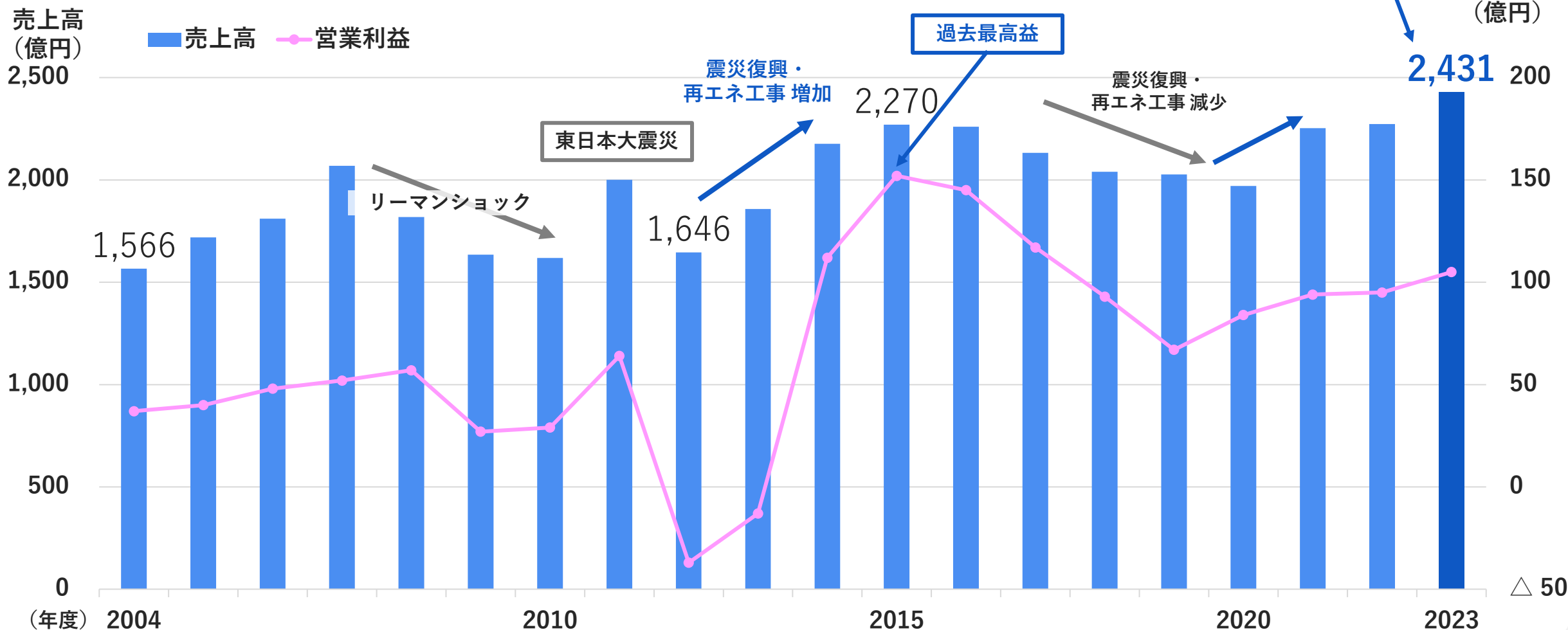
03 業績、株主還元、
2030ビジョン・中期経営計画（2024－2028）

04 サステナビリティへの取り組み

05 ご参考

◆ 幅広く事業を展開し、着実に成長

連結売上高・営業利益 過去20年の推移



株価の推移

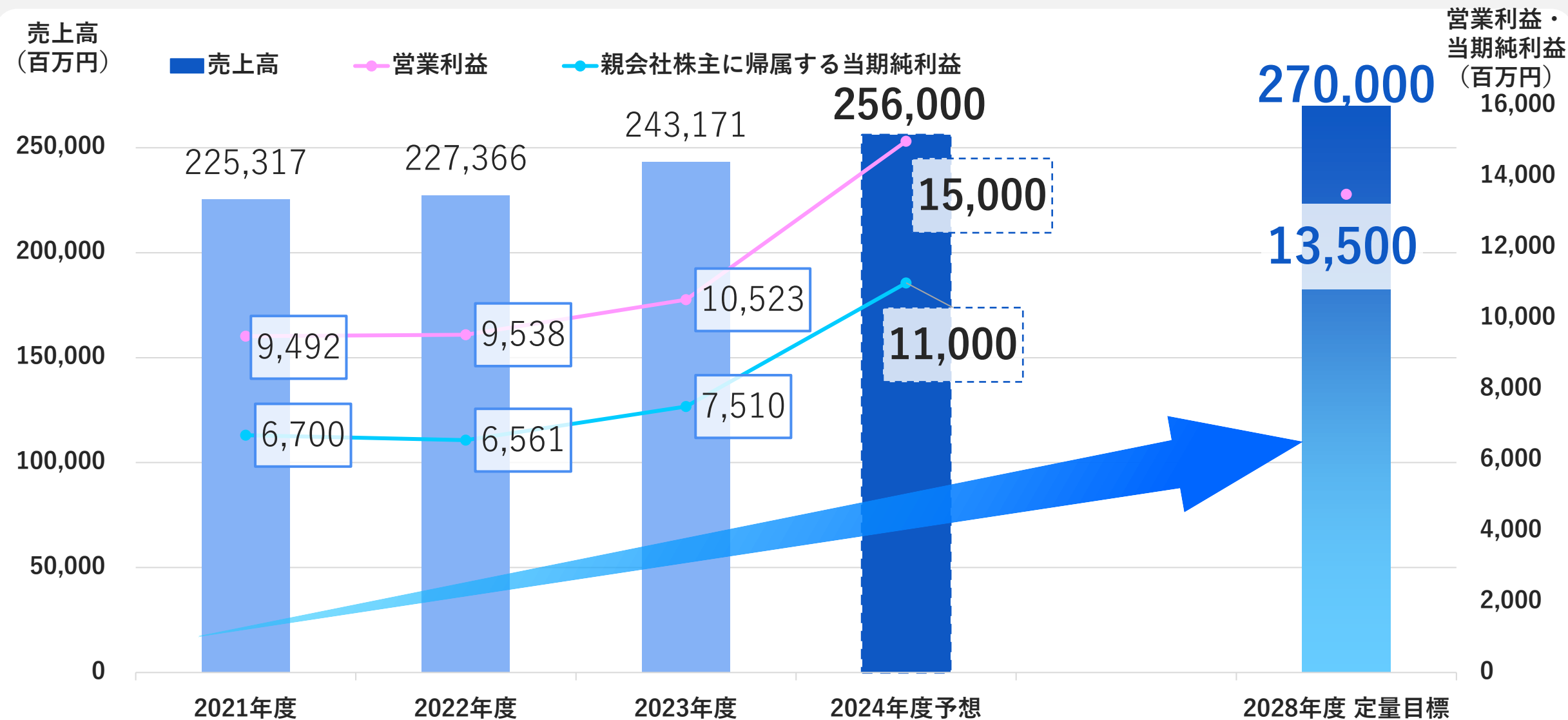
◆直近1年間で約1.5倍に上昇（日経平均株価をアウトパフォーム）



※2022年1月4日の株価終値を100として指数化

2024年度 通期連結業績予想

◆ 売上高・営業利益・親会社株主に帰属する当期純利益とも上方修正



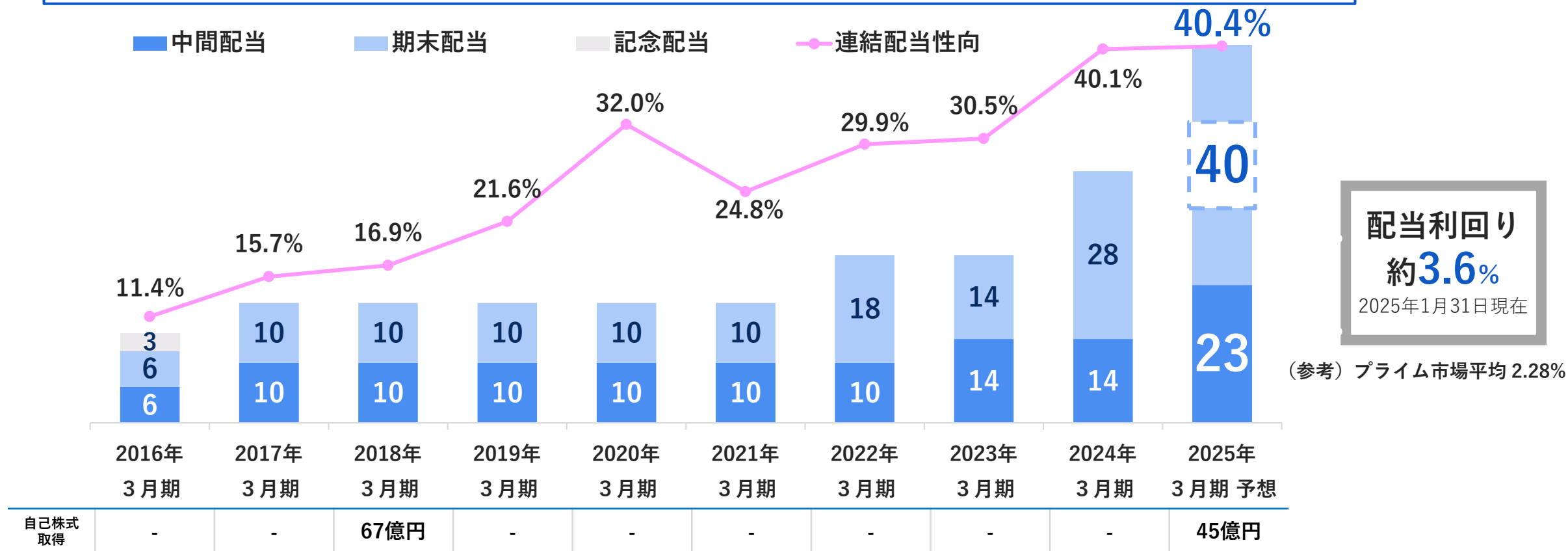
配当金の推移および予想、自己株式の取得

- ◆ 年間配当予想を 1 株あたり 46 円から 63 円に上方修正
- ◆ 中期経営計画期間内において、約 100 億円の自己株式取得を予定

配当方針（2024 年 4 月 25 日公表）

当社は、株主のみなさまへの利益還元を経営上重要な施策として位置付けております。

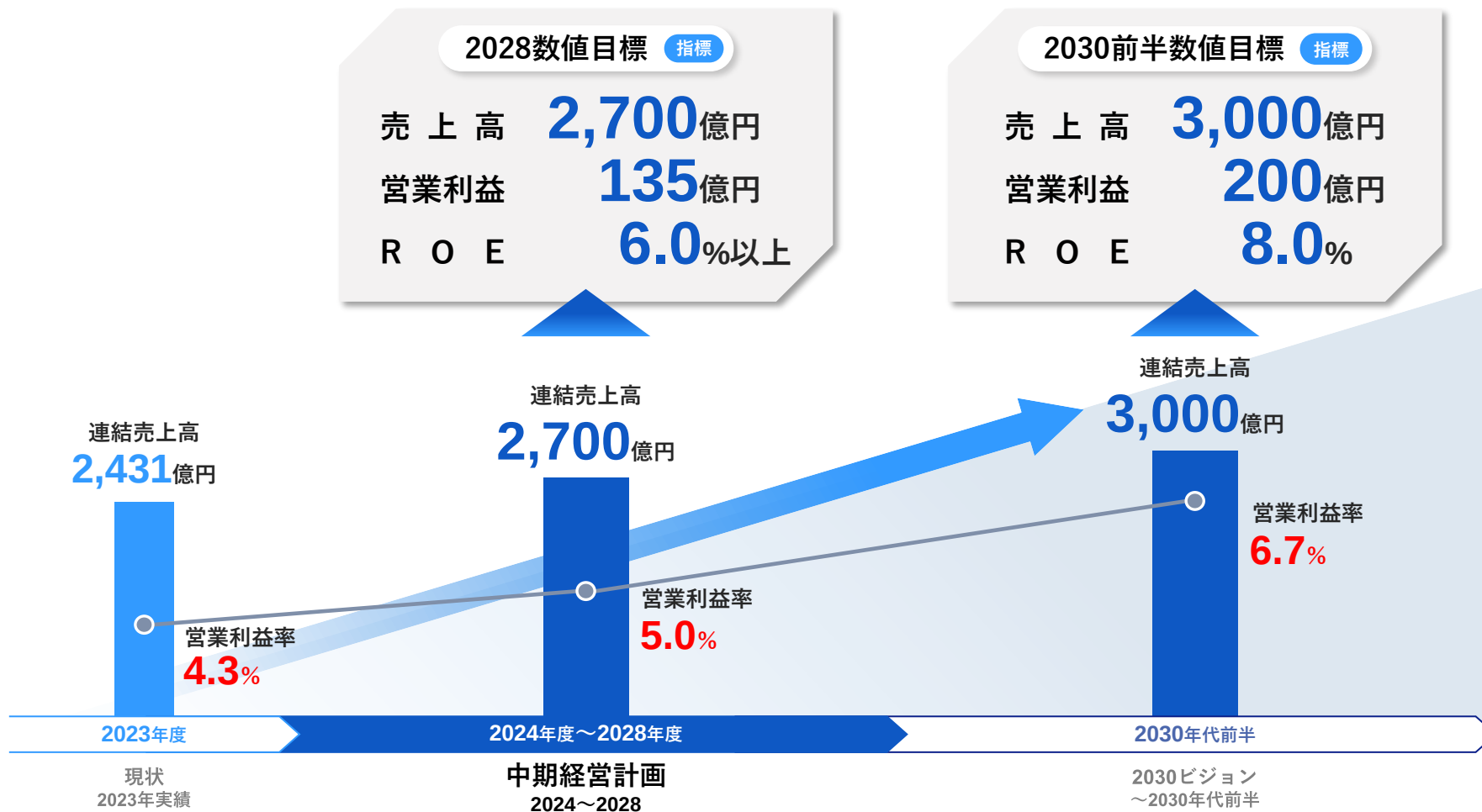
将来に向けた事業展開・成長投資を考慮しながら、業績に応じ連結配当性向 40% 以上を安定的に利益還元することを基本方針としております。



数値目標

◆ ROEを数値目標に設定

資本効率の改善に向け、「収益性の向上」と「経営資源の適切な配分」に取り組む



収益性の向上

◆事業ポートフォリオに基づく「既存事業の深化」と「成長分野への取り組み加速」

事業ポートフォリオ（1/2）

市場（エリア）	海外	海外インフラ工事の受注拡大(ODA案件等)	ベトナム国を起点とした海外事業の拡大 (ミャンマー・バングラデシュ+1、東南・南アジア中心)	海外工事の受注拡大 (洋上風力等)	今後、新たに取り組んでいく事業分野					
	新潟・東北以外	隣接エリアへの段階的な進出	関東圏を中心とした体制強化・収益拡大	北海道へのエリア拡大	移動体・機器据付、ネットワーク構築工事等の受注拡大	新規事業への挑戦 ・不動産事業 ・PFI事業 ・蓄電池関連事業等				
	新潟・東北	施工体制の拡充・強化による収益確保	施工体制の拡充・強化による収益確保 リニューアル工事受注拡大	施工体制の拡充・強化による収益確保 (大型風力、太陽光等)	移動体・機器据付、ネットワーク構築工事等の受注拡大					
						配電・送変電工事	屋内配線・空調管工事	再エネ関連工事	情報通信工事	新規事業領域
事業分野										

収益性の向上



◆創業以来の事業エリアである東北・新潟での事業のさらなる深化を前提として、主要な事業分野・エリアにおける事業規模・成長性等を勘案し、4重点事業を設定

事業ポートフォリオ（2/2）

事業分野・エリア	事業分析結果		概 要
	2022年度実績 (売上高)	2028年度計画	
		成長性(売上高)	
東北・新潟	1,925億円	2,020億円	・創業以来の事業エリアである東北・新潟での競争力をさらに高めて事業基盤を強化する
① 東北・新潟以外	167億円	264億円	・これまで注力してきた関東圏を中心に東北・新潟以外のエリアへの事業拡大をはかる
② 海外事業	89億円	291億円	・ベトナム国を起点とした事業拡大および社会インフラ整備事業を通じたODA案件等の受注拡大をはかる
③ 再エネ関連工事	148億円	277億円	・カーボンニュートラルに向けた再生可能エネルギー関連設備の建設気運の高まり等を捉え、体制強化を行うとともに蓄積したノウハウ、地理的優位性の相乗効果で事業拡大をはかる
④ リニューアル工事	345億円	423億円	・従来のリニューアル営業に加え、(自社事業所へのZEB導入で得た知見をもとに)お客さまへの省エネ・ZEB化推進の提案によりさらなる受注拡大をはかる

※「東北・新潟」および「①東北・新潟以外」は「③再エネ関連工事」および「④リニューアル工事」と重複がある。「②海外事業」はグループ会社分を含む。

経営資源の適切な配分

◆キャッシュの活用と積極的な成長投資・株主還元強化

◆中期経営計画期間内における総還元性向は、**50～60%**を想定

キャピタル・アロケーション（中期経営計画（2024-2028）期間内）

成長投資 総額 約 800 億円	事業投資 約 280 億円	● 既存事業の深化 ● 成長分野への取り組み加速
	設備投資 約 270 億円	● 事業所や工事用設備 ● ZEB仕様の事業所、EV導入など、環境投資へ130億円超を投入
	人財投資 約 150 億円	● 人財確保および人財育成 ● 労働環境の改善、エンゲージメント向上
	IT・DX投資 約 100 億円	● 企業競争力の強化に資するIT・DX化の推進
株主還元 総額 約 300 億円	配当※ 約 200 億円	● 「配当性向40%以上」の基本方針を継続予定 ● 安定的な配当を実施
	自己株式取得※ 約 100 億円	● 中期経営計画期間内の利益のうち、10～20%程度の金額で自己株式を取得予定

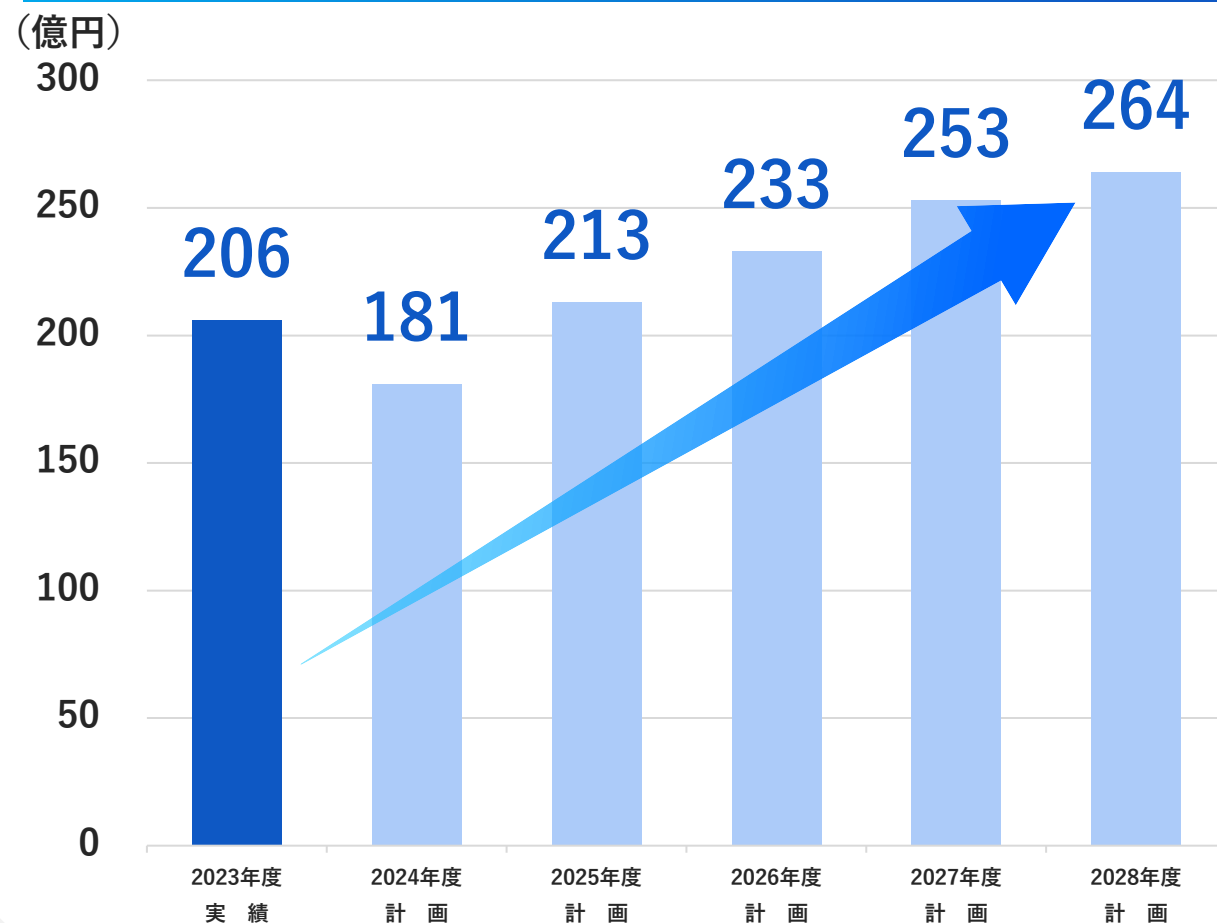
※ 記載している金額は、2024年10月末現在での当社試算値であり、今後の利益額によって増減する可能性があります。

東北・新潟以外（関東圏他）

◆ 東北・新潟以外での収益拡大を目指す

東北・新潟以外の売上計画

（注）東北・新潟以外：東北地方および新潟県を除く国内



戦略的営業の展開

屋内配線・空調管工事の **一括受注**

建築付帯通信設備工事

などの受注拡大

施工体制強化

収益拡大を目指す

近年の主な施工実績（関東圏）

屋内配線工事



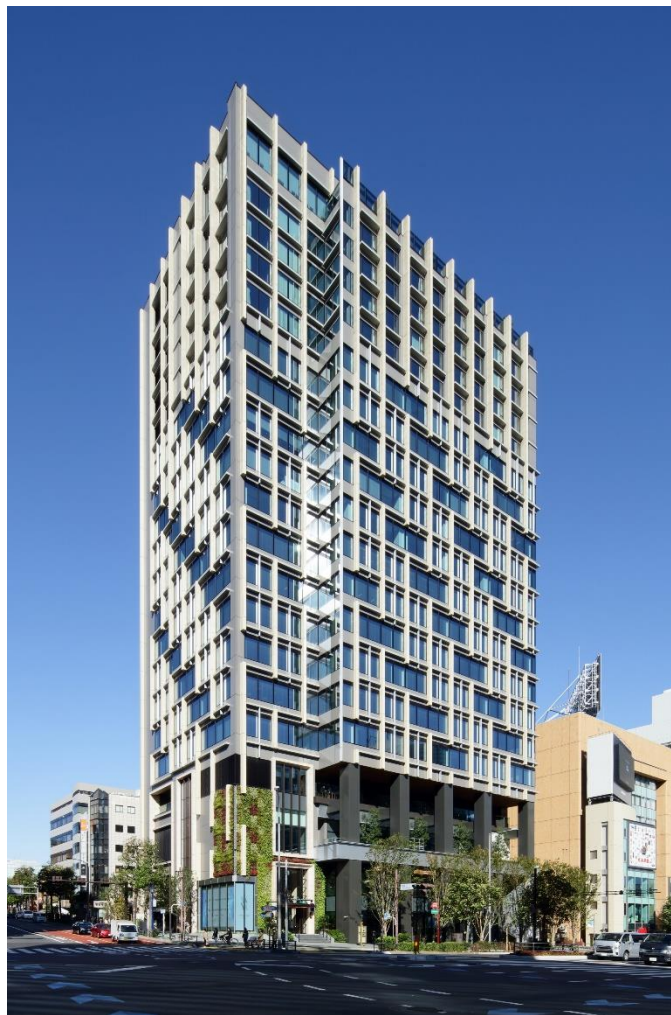
大手町フィナンシャルシティ
グランキューブ（東京都）



屋内配線工事



the ARGYLE aoyama（東京都）



空調管工事



MFLPプロロジスパーク川越（埼玉県）



屋内配線工事



栃木県総合運動公園陸上競技場（栃木県）

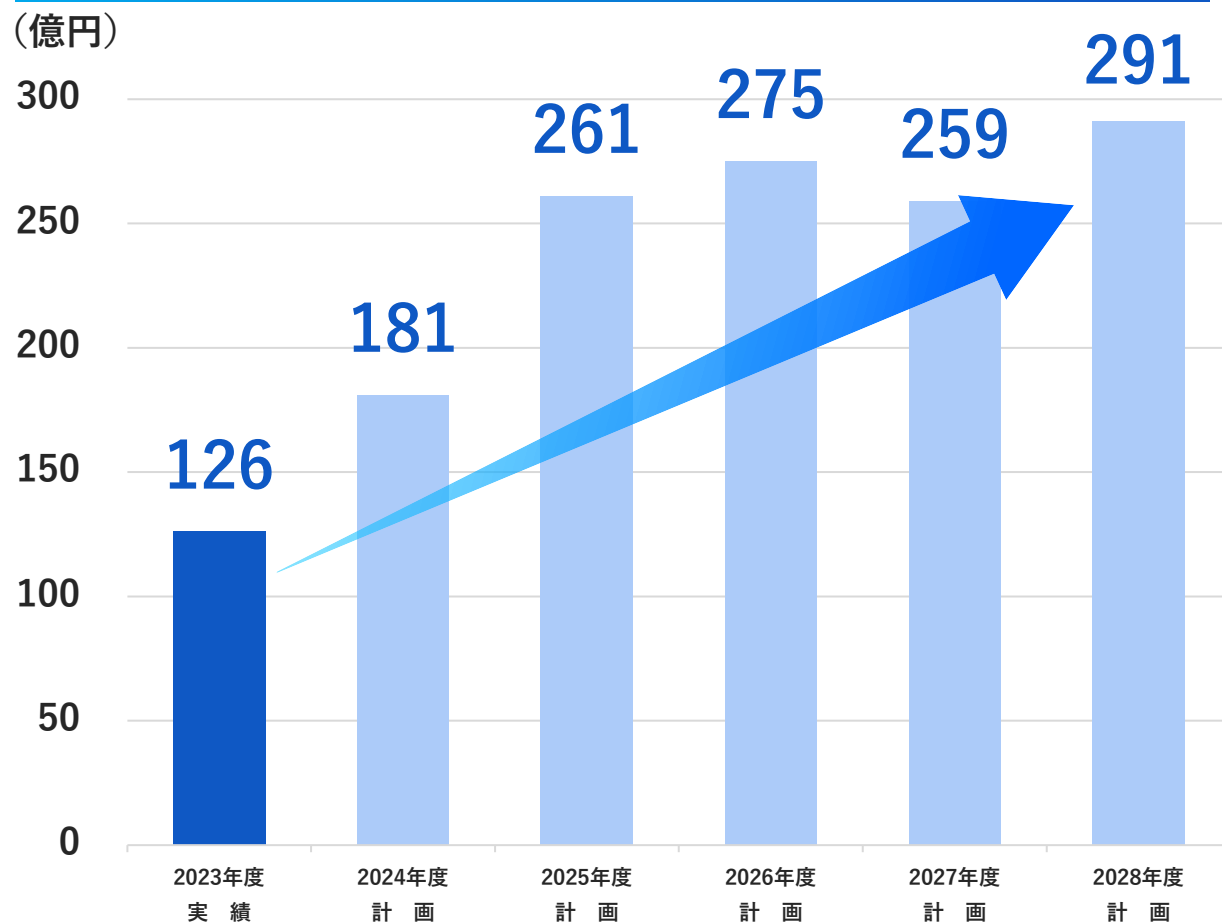


海外事業

◆ 海外事業の強化を進めていく

海外の売上計画

※「海外事業」はグループ会社を含む

ベトナム事業の **強化・拡大**ベトナム近隣国への **事業拡大**

アフリカや東南アジアなど

ODA※工事拡大

セネガル国におけるODA案件の様子



※政府開発援助（Official Development Assistance）の略称。
先進国の政府や政府機関が、発展途上国の社会・経済開発のために行う援助のこと。

近年の主な施工実績（海外）

ユアテックベトナム施工

ホテル・ニッコー・ハイフォン
ロイジェント・パークス・ハイフォン
（ベトナム ハイフォン市）



タイビン火力発電所
（ベトナム タイビン省）

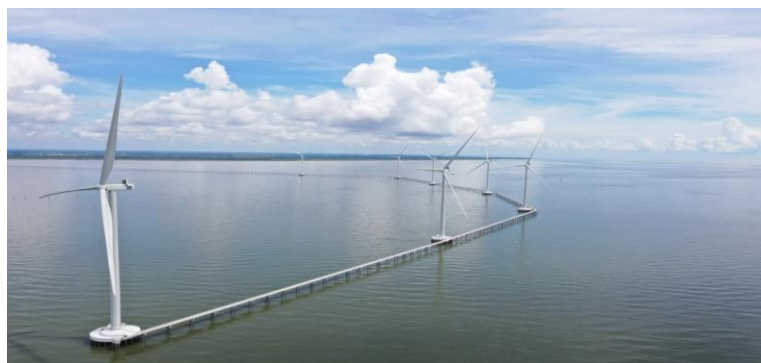


ノイバイ国際空港第2ターミナル
（ベトナム ハノイ市）



シグマ社施工

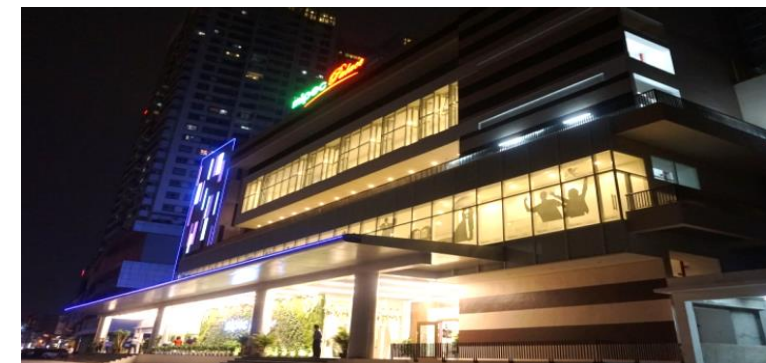
ソクチャン7洋上風力発電所
（ベトナム ソクチャン省）



ミカヅキスパ&ホテルリゾート
（ベトナム ダナン市）



MIPECスポーツセンター
（ベトナム ハノイ市）



映像



シグマ・エンジニアリングは(株)ユアテックの子会社です

DXの活用による現場負担の軽減・効率化

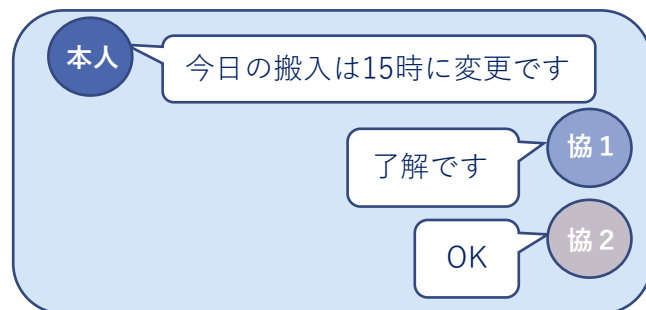
◆ 3つのテーマを軸にDXを推進し、現場負担の軽減や業務効率化

1. タブレット/スマホ利用拡大

現場、出張先からシステム操作

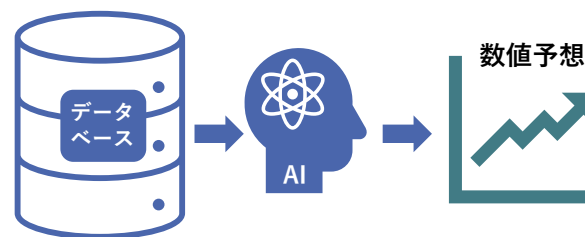


社外メンバーともチャットで
コミュニケーション

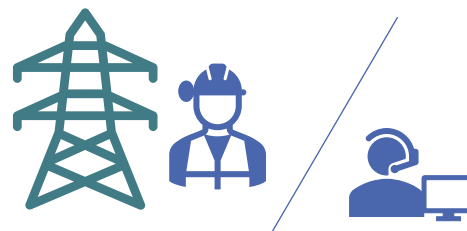


2. 最新デジタル技術の活用

AIが数値を予想

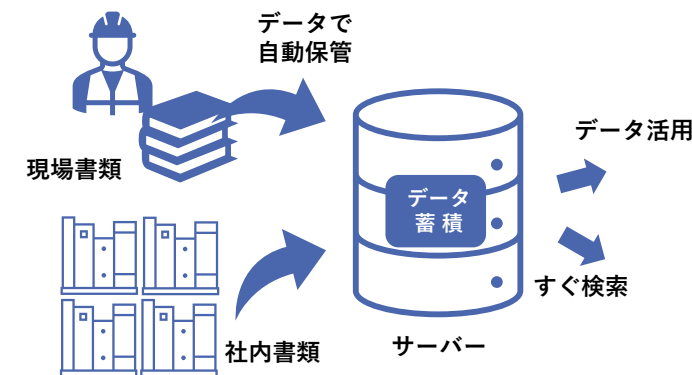


遠隔からの現場支援



3. 業務プロセスの最適化 を前提としたペーパーレス化

件名ファイルの整備を自動化



在宅勤務、フリーアドレス
など働き方を選択可能に

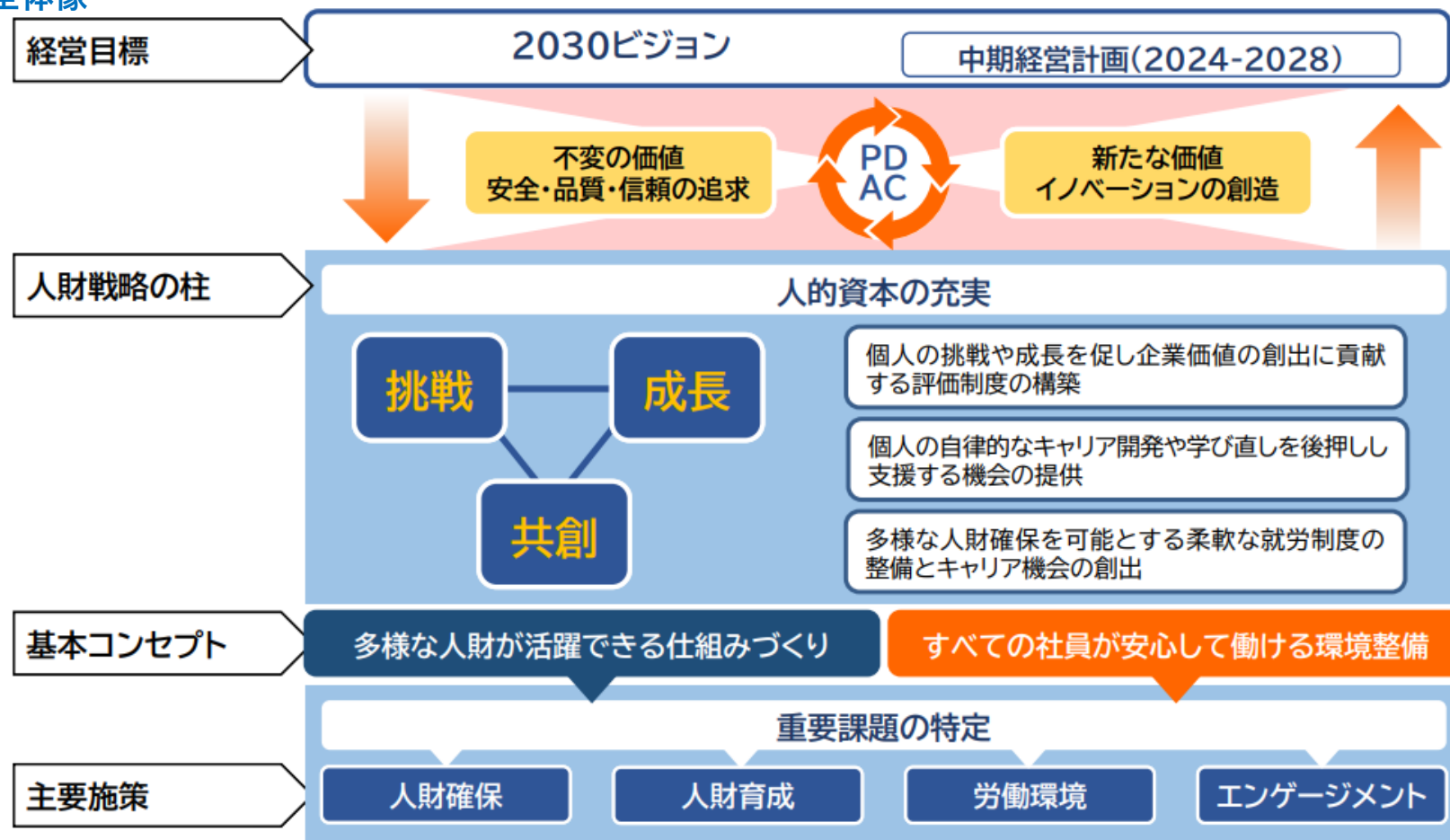


人財戦略

◆人的資本の充実をはかるため、「ユアテック人財戦略」を策定

⇒「人財確保」「人財育成」「労働環境」「エンゲージメント」の4つの主要施策のもと、
人財力強化をはかる

人財戦略の全体像



◆「人財確保」に関する新たな制度を導入し、採用競争力を強化

「人財確保」に関する新たな制度

1. 「奨学金代理返還支援制度」の導入

- 奨学金を返還する社員への生活支援、経済的・精神的負担の軽減（2021年度以降に入社した社員が対象）
返済開始から最長10年、月額1万5千円
（最大**180万円**）まで支援

2. 「ジョブ・リターン制度」の拡充

- 2017年度に導入した同制度の利用条件を**大幅に緩和**
（退職理由、当社での勤続年数、離職期間などは問わない）

3. 「定年延長」および「新・再雇用制度」の導入

- 2025年度から定年年齢を60歳から**65歳**に引き上げ
- 役割や職務内容などに応じて働き方をコース化
- 定年延長に伴い、**最長70歳**までの雇用を可能にする
「新・再雇用制度」を導入

※1・2は2024年度から導入。3は2025年度から導入予定

営業・施工系要員の増員予定数

➢ 5年間で約**350名**の増員を予定

営業・技術系要員

屋内配線 **92名増**空調管 **67名増**営業 **19名増**情報通信 **34名増**配電 **34名増**送電 **36名増**発電変電 **25名増**土木建築 **22名増**再エネ **22名増**

注力事業・成長市場

- 屋内配線・空調管工事の一括受注
- 海外工事
- リニューアル工事

- Beyond 5G等モバイル関連工事

- 高経年化設備対策工事

- 再エネ関連工事
- 基幹送電網整備工事

- 再エネ関連工事

※中期経営計画（2024-2028）における要員計画

人財戦略

◆成長を支える「人財の育成」

- ⇒ 技術継承の拠点として、宮城県富谷市に研修施設「人財育成センター」を構え、技術の高度化・専門家に対応できる人財を育成や能力開発に取り組む
- ⇒ 同センター内に「安全啓発センター」を開設し、危険への感受性を高める教育を継続実施

人財育成センター
300人規模の研修施設



『技術継承の拠点』



安全啓発センター



『安全文化の定着』



ユアテックブランド

安全確保

信 頼

品質向上

目次

01 ユアテックについて

02 ユアテックの強み

03 業績、株主還元、
2030ビジョン・中期経営計画（2024－2028）

04 サステナビリティへの取り組み

05 ご参考

マテリアリティ（サステナビリティ重要課題）

◆中長期的な企業価値向上と社会全体の持続的発展に貢献するために優先的に取り組むべき「マテリアリティ」を特定

マテリアリティ		主要課題	関連するSDGs
E 環境	カーボンニュートラルへの挑戦	■ 事業における温室効果ガスの排出抑制 ■ お客さまへの省エネ提案や再生可能エネルギー関連工事の拡大	  
	地球環境の保全	■ 循環型社会の形成 ■ 生物多様性の保全	    
S 社会	レジリエントな地域社会や社会インフラの構築	■ 強靱で持続可能な街づくりへの寄与 ■ 大規模災害への対応	    
	海外インフラへの貢献	■ 進出国を中心とした社会インフラの整備	   
	イキイキと働く職場づくりを通じた従業員エンゲージメントの追求	■ ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョンの推進 ■ 働きやすさ・働き甲斐・生産性の向上 ■ 人財の育成と技術継承 ■ 健康経営の推進	    
	人権の尊重	■ 労働安全の確保 ■ 差別・ハラスメントの防止 ■ 様々なステークホルダーの人権尊重	    
G ガバナンス	健全で透明性のある企業経営	■ 健全な経営基盤の強化 ■ 企業倫理・法令遵守の徹底 ■ 情報セキュリティの確保 ■ ステークホルダーとの双方向コミュニケーションの充実 ■ 施工品質の追求 ■ リスクの特定と管理・対応	  

マテリアリティの解決に向けた取り組み

主な取り組み

環境 E



温室効果ガスの排出抑制
⇒EV車両への入れ替え推進



7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



12 つくる責任
つかう責任



13 気候変動に
具体的な対策を



環境配慮型設備の提供
⇒再生可能エネルギー工事の拡大



7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



12 つくる責任
つかう責任



13 気候変動に
具体的な対策を

社会 S



レジリエンス強化への寄与
⇒電力安定供給、災害対応力強化



7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



9 産業と技術革新の
基盤をつくろう



11 住み続けられる
まちづくりを



海外インフラへの貢献
⇒ODAの地方電化計画に参画



9 産業と技術革新の
基盤をつくろう



11 住み続けられる
まちづくりを



12 つくる責任
つかう責任



17 パートナリシップで
目標を達成しよう

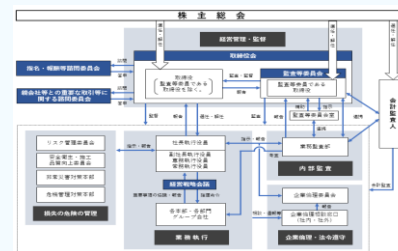
ガバナンス G



コンプライアンス徹底
⇒企業倫理、法令遵守の徹底



16 平和と公正を
すべての人に



コーポレート・ガバナンスの強化
⇒ガバナンス体制構築と実効性向上



16 平和と公正を
すべての人に

地域貢献

◆ 様々な地域貢献活動等へ積極的に参加

地域貢献活動



2016年から宮城県と連携し、当社施設をドクターヘリの臨時離着陸場の提供し、地域医療の一旦を担う

ボランティア活動



交通事故防止と美しい街づくりに貢献するため、高所作業車を利用した公衆街路灯や信号機等の清掃を実施



創立80周年の記念事業「ユアテックグループ『海ごみゼロ』活動」（全社一斉清掃活動）として、各事業所周辺の河川および海岸等を中心に清掃活動を実施

地域貢献

◆ 様々な地域貢献活動等へ積極的に参加

地元プロスポーツ支援



仙台市が所有するサッカー専用スタジアムのネーミングライツを2006年に取得し、「ユアテックスタジアム（ユアスタ）」として地元浸透

寄付活動



各事業所に配備する非常災害用食料品を定期的にフードバンク等のNPO法人や地元の社会福祉協議会へ寄付

学習・就業支援活動



未来を担うものづくり人材の育成および技術・技能の伝承を目的に、出前授業に参加

使命

地域に密着したネットワークと
信頼の技術力でライフラインを守る

強み

カーボンニュートラルと当社事業の親和性の高さ

投資

積極的な成長投資（総額約800億円）と
充実した株主還元（総額約300億円）を実行

目次

01 ユアテックについて

02 ユアテックの強み

03 業績、株主還元、
2030ビジョン・中期経営計画（2024－2028）

04 サステナビリティへの取り組み

05 ご参考

「ユアテック統合報告書 2024」を発行

◆ 昨年11月に、統合報告書を発行

⇒ トップメッセージにて「2030ビジョン」策定の背景と込めた想い、「中期経営計画（2024－2028）」の位置付けおよび戦略テーマを説明

⇒ 新たに策定した財務戦略・人財戦略、マテリアリティ、経営層と若手社員による座談会など創立80周年記念企画も掲載

[統合報告書](#) | [IR情報](#) | [ユアテック 東北電力グループ](#) (yurtec.co.jp)

特集 80周年記念座談会 ①
ユアテックの存在意義、ありがたい姿



利田 文子 代表取締役社長
小澤 美穂 常務取締役
佐藤 孝人 取締役副社長
田代 良治 取締役専任執行役員
佐藤 孝人 取締役専任執行役員
小林 梨花 取締役専任執行役員
橋本 知 取締役専任執行役員

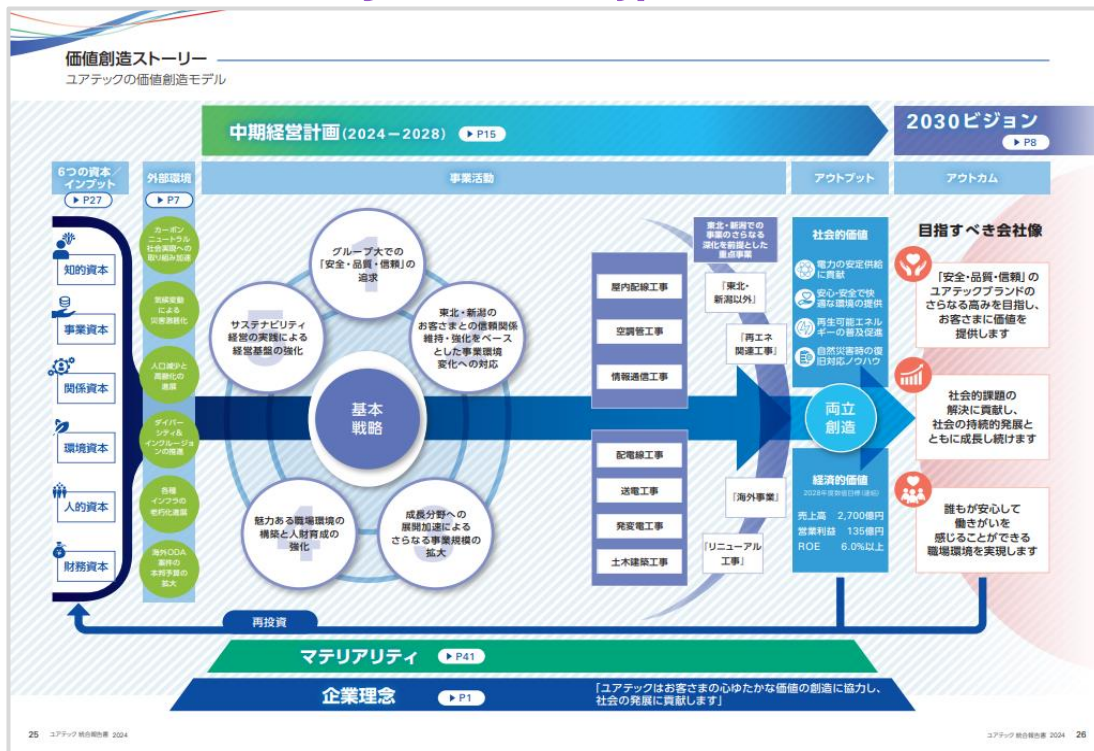
「100年企業に向けて、ユアテックはどうあるべきか」
「そのなかで、私たちはどのように貢献したいか」
田代良治社長と20代の若手社員4名が目標や夢を語り合った。

長期ビジョンの実現に向け、重要なこと
本題：長期ビジョンの実現に向けて、ユアテックには「社員が自主性を発揮できる柔軟な組織」であってほしいと考えています。若い熱意と、社員一人ひとりが自ら主体的に考え、判断し、積極的に行動できる組織です。事業環境がめまぐるしく変化するため、社員が「自分ごと」としてビジョンの実現に向けて取り組む。そうすることで組織全体が一丸となって持続的な成長を遂げることができると信じています。
また、何でも自由に話し合える職場風土、すなわち「声を上げる文化」の醸成も重要です。その取り組みの一環として2023年から「事業所長でマネジメントミーティング」を始めました。これは、経営層と事業所長が顔を交える議論を行い、経営層の意思と事業所の抱負の共有、良好事例の水平展開をはかるものです。
皆さんは長期ビジョンの実現に向けて、重要だと考

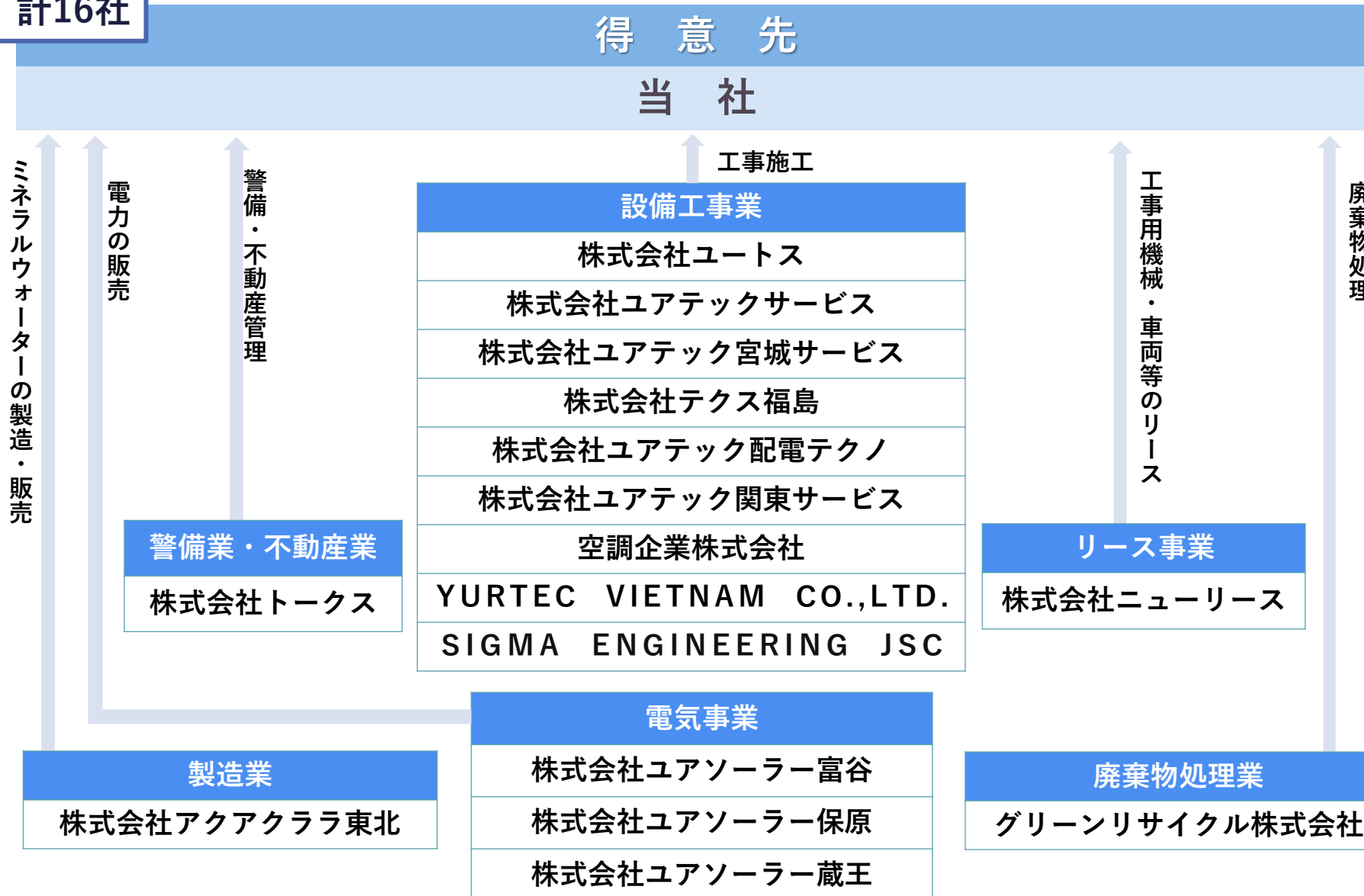
えていることはありますか。また自身の役割についてはどう考えていますか。
橋本：私は今、教育関係の仕事を担当しています。配電に関する知識や本社から指示された情報を部門内に周知徹底する役割、安全に指示するための環境づくりが私の役割です。ユアテックブランドの向上のため



21 ユアテック 統合報告書 2024

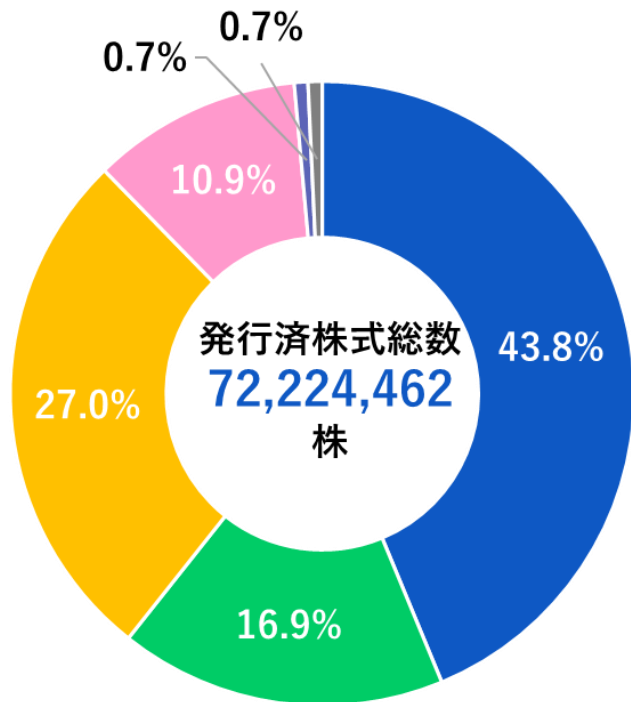


連結子会社 計16社



(2024年9月末現在)

所有者別株式比率



- 国内法人
- 個人・団体
- 金融商品取引業者
- 金融機関
- 外国法人等
- その他

大株主

所有株式数
(千株)

持株比率
(%)

1	東北電力株式会社	29,915	41.72
2	日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	5,869	8.19
3	ユアテック従業員持株会	5,250	7.32
4	株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	2,284	3.19
5	日本生命保険相互会社	1,381	1.93
6	DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	1,000	1.39
7	株式会社七十七銀行	942	1.31
8	STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505001	786	1.10
9	JP MORGAN CHASE BANK 385781	501	0.70
10	明治安田生命保険相互会社	459	0.64

(注1) 所有者別株式比率のグラフにおいて、自己株式は、「その他」に含めております。

(注2) 持株比率は、発行済株式総数から自己株式(527,385株)を控除し、計算しております。自己株式は、上記大株主から除外しております。

(注3) 2024年11月に実施した、自己株式の取得および消却に伴い、東北電力株の所有株式数と全株主の持株比率に変動が生じております。

詳細は、当社ウェブサイトをご覧ください。

持続的成長と企業価値向上に努めてまいります。
ご視聴、ご覧いただき、ありがとうございました。



株式会社 ユアテック

(銘柄コード：1934)

IRサイト

[IR情報 | ユアテック 東北電力グループ \(yurtec.co.jp\)](https://www.yurtec.co.jp)



将来の見通しに関するご注意事項

本資料における業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

【当社ホームページ（IR情報）】
<https://www.yurtec.co.jp/ir/>

【本資料に関するお問い合わせ先】
株式会社ユアテック
宮城県仙台市宮城野区榴岡4-1-1
TEL：022-296-2111（代表）
担当：総務部法務室（株式）



仙台市が所有し、プロサッカーチームベガルタ仙台のホームスタジアムとなっているスタジアムのネーミングライツを2006年3月1日に取得し、名称を「ユアテックスタジアム仙台（略称：ユアスタ仙台）」としております。